

手塚たかひろ

議会報告

NO10 2013年10月7日

連絡先 枚方市禁野本町 1-5-15 106

Tel・Fax 072 - 849-1545

自宅 枚方市宮之下町 13-12

携帯 080-1509-0706

ブログ <http://ameblo.jp/shiminnokai-tezuka-t/>

HP <http://www.tezukatakahiro.com/>



九月議会は九月一〇日から一〇月二三日まで。今年から、会期中に決算特別委員会を開催する変更をしたため、開催期間は長期に。九月一八日から二四日まで二七名の議員が一般質問。議会の悪しき慣習のため、私は今回も最後から二番目の質問。①原発事故から市民を守る②生活保護③介護保険④非正規職員⑤(仮称)市民まちづくり基本条例の五項目について質問した。市からは「国の動向を注視する」との答弁が目立った。国任せでない市民本位の自立した政策が必要だ。
二六日、議員提案の意見書案を採択。

本会議 1 日目 一般会計補正予算案などに反対

9月10日 本会議初日 中学校給食実施むけて、小中学校共同調理場建設予定地取得の提案。枚方市の中学校給食の実施案は、6000食分の調理場を作る。しかも、給食を頼むか弁当を持ってくるかは生徒の選択に任せるという中途半端なもの。選択性は、多くても3割程度の生徒しか給食を選択しないのは多くの先行市で明らか。枚方の中学生の数は約11300人。本来の全生徒を対象にすべき学校教育としての給食とはかけ離れている。将来全員対象にする考えはあるかと質問したが、その考えはないとの答弁。いずれ、再検討が必要となると思われる中学校給食の実施方法を見直すべきだと反対意見を述べた。また、このための用地買収費14億8497万4507円の増額を含む補正予算案に反対した。結果は用地取得案も含めて賛成多数で可決 今年度の一般会計予算は1213億4285万5000円となった。

意見書を提案

26日、本会議で意見書を採択。「市民の会」からの要請をもとに「子ども・被災者生活支援法に基づく具体的施策の早期実現を求める」「すべての原子力発電所の再稼働中止を求める」意見書を共産党議員団との連名で提出。賛成は、私と共産党議員団3名 堀井議員 千葉議員の計6名 大塚・野村・八尾議員が退席した。

議会改革の意見書提出

10月1日 議会改革調査特別委員会委員長へ、議会改革の意見書を提出

- ① 本会議開催前に、市民の意見表明をする時間を保障すること
 - ② 陳情も請願に準じた扱いをすること
 - ③ 意見書の賛否は、各議員の賛否を公開すること
 - ④ 会派は一人から認めること
 - ⑤ 予算決算特別委員会のどちららかにすべての議員の参加を保障すること
 - ⑥ 議会改革の特別委員会では、会派のあり方も議論の対象とし無会派の議員の参加も保障すること。また、すべての議員の参加で議会改革を議論する場を保障すること
 - ⑦ 各委員会の参加を平等に保障し議決権も保障すること
 - ⑧ 常任委員会や各種委員会の所属は、すべての議員から事前に希望を聞いて公平に決定すること。
 - ⑨ 一般質問の順番も、会派に所属しない議員も含めて公平に決定すること
- (詳細はホームページに)